

新型コロナウイルスによる肺炎の発生と対応について 緊急要請を実施

サービス連合では、日本国内でも新型コロナウイルスによる肺炎の感染が確認されたことをうけ、1月29日に「新型コロナウイルスによる肺炎の発生と対応」について談話を発表しました。

また、緊急要請を観光庁、立憲民主党、国民民主党に対して行い、新型コロナウイルス感染症の発生と対応について、今後の観光産業の維持と振興へむけた対策を講じるよう求めました。



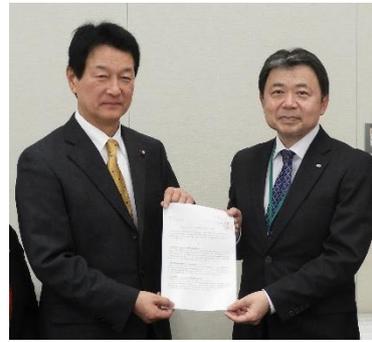
1月31日、観光庁 田端長官（右）に要請

新型コロナウイルスによる肺炎の発生と対応に むけた要請

1. 外国人患者への対応について積極的な情報提供を
2. 観光産業の現場で従事するものの安全対策を
3. 相次ぐ予約キャンセルをうけての事業継続への対応を
(各項目の詳細については2面をご覧ください。)



2月7日、立憲民主党 枝野代表（左）に要請



2月7日、国民民主党 大島副代表（左）に要請

要請の際に後藤会長から「現場で働く者は国民の一人としてうがいや手洗いなどを実施し感染症対策に努めている。感染拡大防止のために従業員がマスクの着用を実施していることもあるが、欧米を中心に外国ではマスクをつける習慣がなく、日本人のマスク姿が罹患している者と誤って認識されることもある。日本でどのような感染症対策が取られているか、事業者だけでなく、政府より積極かつ正確な情報を発信することが必要である。中国からの旅行者のキャンセルは多数発生しており、海外渡航自体を控える動きもでてくる等、懸念される。また、中国便がなくなることで、貨物の荷動きにも影響が出ている。安心・安全であることが最も重要であるが、適切な時機に財政出動による支援をおこない、サービス・ツーリズム産業で働く者が続けて働けるように環境を守っていただきたい。」と述べ、3つの項目について要請しました。

(2面に続く)

新型コロナウイルスによる肺炎の発生と対応にむけた要請

1. 外国人患者への対応について積極的な情報提供を

1月31日現在、日本国内でも新型コロナウイルスによる肺炎の感染例が9件確認されている。今後の感染拡大にそなえ、政府は正確な情報収集と発表をおこなう必要がある。また、訪日旅行者をはじめとした外国人の発症にそなえ、言語の翻訳など外国人患者への対応について、政府は医療機関や地方自治体への情報提供・周知に留まることなく、多くの外国人旅行者と接する宿泊施設をはじめとする観光関連施設にたいしても、早急かつ積極的な情報提供をおこなうよう求める。

2. 観光産業の現場で従事するものの安全対策を

新型コロナウイルスによる肺炎について、指定感染症への指定が閣議決定されたなかで、観光産業に従事する我々は、宿泊施設や食事施設・各種観光施設の従業員として、またツアーに同行する添乗員として、お客様に接する機会が多い状況にある。自身の感染防止や、万一感染してしまった場合の拡大防止をはかるため、観光産業に従事するものの生命にかかわる安全対策の速やかな実施を求める。

3. 相次ぐ予約キャンセルをうけての事業継続への対応を

中国政府は国外への団体旅行を1月27日から停止することを決定した。これに伴い、日本各地では、宿泊施設をはじめとする観光関連施設での予約キャンセルが相次いで発生している。今後、事態の長期化も想定されるなかで、国内外の「人流」の停滞により、観光関連施設は事業の継続が危ぶまれる深刻な状況にある。政府は時機をみて、旅行需要の喚起にむけ、国内旅行者はもとより国外旅行者も対象とした財政出動による支援をおこなうよう求める。

サービス連合は引き続き、「新型コロナウイルスによる肺炎」の影響から、サービス・ツーリズム産業で働く者の就労環境を守るために取り組みます。

加盟組合の実態について早期に意見集約を行い、働く現場の実態を正しく把握し、働く者の立場から様々な場面において発信していきます。

今般の新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザをはじめとして、咳やくしゃみの飛沫により感染する感染症は数多くあります。石けんやアルコール消毒液などによる手洗い、「咳エチケット」を行いましょう。

「咳エチケット」は、これらの感染症を他人に感染させないために、個人が咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえることです。



3つの咳エチケット

1. マスクを着用する。
2. ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う。
3. 上着の内側や袖（そで）で覆う。

